

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ワンハートビレッジ					公表日	2026 年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		定員に対して十分なスペースを確保しています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の定める人員基準でスタッフを配置しており、保育士児童指導員、など児童分野での経験と専門性を持った職員を配置しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		当事業所が2階に位置しているため、エレベータ設置についてのご要望（医療的ケア児や保護者様野負担軽減）があることを受け止めております。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		現状としては活動内容に応じて2部屋を使い分けることで環境を構造化し、子どもたちが落ち着いて過ごせるよう工夫しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		日頃からPDCAサイクルを取り入れ業務改善に努めています。職員の意見が多く反映できるように努めています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3		保護者向け評価表を通してご意見を把握し、職員間で共有・検討の上、業務改善に反映しています。改善内容は随時周知していきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼での振り返りや支援方法の共有、業務日報による情報共有を通して職員の意見を把握し、業務改善に活かしています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		社内評価は実施しているが、第三者による外部評価は未実施である。今後は外部評価野導入を検討していくことが課題である。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		定期的な外部研修に参加しています。また内部研修を定期的に行い、職員の資質野工場に努めています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		株式会社波音、ホームページのブログ内で公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		面談や記録を通じ個々のニーズに基づく支援計画を作成しています。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		定期的な会議や朝礼で面談内容を共有し、職員間で共通理解をはかりながら支援計画を検討しています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画を職員間で共有し、朝礼や記録で確認しながら計画に沿った支援を実施しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		評価ツールと日々の観察・記録を合わせて子どもの状況を確認し、支援に反映しています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインの視点を踏まえて必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を計画に反映しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動プログラムは職員間で話し合い、子供の発達や興味を踏まえてチームで立案しています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子どもの状況や興味に合わせて活動内容を見直し、季節行事や新しい教材を取り入れる等固定化しない様工夫しています。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、計画的に支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援前に打合せを行い、内容や役割分担を確認し、チームで連携して支援を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援後に振り返りを行い、気づきや、課題を共有し、次の支援に繋げています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の記録を徹底し、振り返りや検証を行いながら支援の改善に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて、支援計画の見直しを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	子どもの状況をよく理解している職員が会議に参加し、具体的な情報共有を行っています。	会議内容を全職員へ確実に共有し支援に反映させる体制づくりが課題です。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		医療・福祉・保育・教育機関と情報共有や会議を行い連携した支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		関係機関と情報共有を行いながら相互理解を深め、並行利用や移行が安心して行えるよう支援しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学時には関係校と情報共有を行い、支援内容や配慮事項を引継ぎながら円滑な移行に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	協議会やセンターと連携し、必要に応じて助言を受けながら支援の向上に努めています。	助言を受ける機会が不定期であるため、今後は計画的・継続的な連携体制を整えることが課題です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		公園等での地域活動は行っているが園との交流機会はないため、今後は交流の場づくりを検討していくことが課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々のやりとりや面談を通して子どもの状況を共有し、発達や課題について共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	家族からの相談に随時対応しともに考えながら必要な助言を行っています。	保護者向けの研修や、家族支援の機会が十分ではないため、今後は学びや情報提供の場を設けることが課題です。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		計画作成時に子どもやご家族様の思いをうかがい、より良い支援に繋がるよう計画に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援計画を説明し、内容をご理解いただいたうえで同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		悩みに対する相談は随時行っています。日ごろから保護者様との関係を大切に、相談しやすい雰囲気作りを心がけています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	今後保護者会を開催し、保護者同士が交流できる機会を設けていく予定です。情報交換や悩みの共有画ができる場となるよう配慮していきます。	兄弟交流は未実施の為、今後の検討課題です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		安心して相談できる体制を整え、相談があった際には対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		ブログやSNS,日々の記録を通して活動内容や子供の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の管理を徹底し、適切な取り扱いに十分留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子様や保護者様の状況に応じて伝え方を工夫し、円滑な意思疎通に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	地域の公園等を活用し、地域とつながりを持てる活動を行っている。	地域との関わりはあるが、行事への招待は未実施野ため今後の検討課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを整備、周知し、想定訓練を実施して対応力の向上に努めています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、年間計画に沿って定期的に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		服薬や発作等の状況を確認し、医療的ケア児については主治医の指示書をもとに安全に配慮して支援を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		現在該当者はいないが、今後に備え確認体制を整えています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を策定し、研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底した中で支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		活動の取り組みについては、アプリ内の活動案内で報告しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット発生時は報告書を作成し職員間で共有、際は再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に2回以上の研修を行っています。全事業所でメンタルヘルス研修にも参加して職員の心身の安全確保に努めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		保護者様に説明を行い同意書をいただいています。個別のケースに対して個別支援計画に記載し保護者様に事前に了解を得ています。		